

ROTARY CLUB OF

**KANAZAWA-NORTH**



**金沢北ロータリークラブ**

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：若野三郎 幹事：吉山宥海

情報委員長：清水 忠

1979・5月31日

**第141号**



## “国家と宗教”

松尾神社宮司 松本 昌親氏

日本は資源の乏しい小さな国ではあるけれども、天皇と国民は一体となり礼節を知り勤勉さで今日の繁栄の基礎を造りました。

戦前までは種々の祭儀で時節毎に国民全体の気持を新たにしていきました。——四方拝の日・紀元節・天長節・明治節・春季秋季皇霊祭・新嘗祭——これらの祭日は各々深い意味を持ち天皇自らが祭儀をなされたのでありますが、現在では名称が変り何を意味する日であるか極めて曖昧になっていることが遺憾に思われてなりません。

日本の長い歴史を回顧し、平和憲法に護られ、国家社会の恩恵によくしているならば祭日に皆なが国旗を門毎に立て深く神に感謝すべきではないだろうか。天皇を祖先と仰ぎ奉ってあるのが伊勢神宮であります。神社は宗教性と国家性の2面を持っておりますが“政教分離”という解釈から国家の根元をなした祭礼は、国家と距離のあるものに追いやられてしまっています。

神武天皇以前——神代の時代には「やおよろずの神」を奉る日本独特の尊い風習があり、今日に受け継がれております。我々を生み育ぐくんできた遠い祖先は皆な「やおよろずの神」となるのです。

日本の国家のため命を落とした人達もやはり又、神々として永遠の生命が続くよう護国神社では奉ってあるのです。

西洋の様に全智全能をのみ神とすることと趣を異にしています。神統を一介の宗教としてではなく国家的・公共的な「人の道」として是非受けとめて頂きたく思います。

—金沢北RC例会講話から— (文責 桜井健太郎)

## ヨーバ・リンダRC訪問と アメリカ西海岸地方旅行レポート (その2)

国際奉仕委員長 本江 他美夫

5月1日

ラスベガス、豪華なフラミンゴ・ヒルトンホテルに泊る、ショーを見ながらの夕食はすばらしい。賭博とインスタントラブで知られるラスベガスは元来砂漠のオアシスとしてスペイン人の隊商が利用した野営地にすぎなかったところですが、第二次大戦後、娯楽センターとして急速に発展しモナコと並ぶ賭博の町として、ショウビジネスのメッカとして、世界的な有名な都市になったのだそうです。

5月2日

フライトツアーにてグランドキャニオン観光、砂漠の中の有名なフーバーダムやコロラド河（スペイン語で赤い河）を眼下に見おろし、砂漠の中の雄大な段層キャニオンを見て、その素晴らしさは、ただただ筆舌に表はし難し。

5月3日

サンフランシスコ観光（金門橋、ツイン・ピーク、チャイナ・タウン、金門公園）サンフランシスコヒルトンホテル泊。

アメリカで最も人気のある都市とされる人口70万人のサンフランシスコは大平洋とサンフランシスコ湾にはさまれた小高い丘に広がった美しい街で、他のアメリカの都市にみられる広大な平原の街とは全く対照的です。各国の人種が寄り集まった独特な情緒あふれる坂の街であり、他の都市が車がなければどこにも動けないのに比べ、こゝは人間の足で昼も夜も歩きまわれる霧の街です。

5月4日

午前11時35分日本航空003便ホノルル経由にて帰国の途につく。

5月5日

17時50分成田空港着。

以上の旅程を終えて、ラスベガスで胸のロータリーバッヂを指さし“オー、ロータリアン”と握手を交したアメリカ人のロータリアン等、数々の思い出多い楽しいヨーバ・リンダRC訪問旅行でした。





## 趣味の会「油絵」に思う

親睦委員長 桜井 健太郎



昨年の秋に会が発足して以来、早くも半年が経ち毎週金曜日の夜、張切って練習に励んでおります。

4月26日の夜間例会にて腕前の方は諸兄に証明済みであります、皆な自分自身の楽しみとして描いておりますので評価の方はあまり気にしてはいません……とは云うものの褒められれば結構嬉しくもあり、童心に似てくるものであることを知りました。

キャンパスに向えば無心になり、どこか事務所や家庭で油絵を見かければ、これっくらいなら自分でも描けそうだと錯覚に陥ったり従来にはなかった興味が湧くようになりました。会員皆な面白さが分かりつつある時期であり、本会は益々発展するものと信じております。

今後は会員を最底、15名程に増強したくまだ始めていない“不幸”な方には是非入会して頂きたいをお願い申し上げます。

単なる遊びとして勧誘しているのではなく健康上からも大切なことなのです!!——人間は仕事や趣味に永久に生きることが出来ます。人間はすべての生物のうち、前頭葉が最高に発達しそこに思考、判断、創造の最高中枢がありますが、人間としての喜びと満足感、幸福感はこの「創造性」の精神機能に連なってきます。——

健康、若さを保つ一助になるものと信じております。

### 歴代、国際ロータリー会長の指針

1956～57年度 ジャンP. ラング (イタリー)

1. ロータリーは簡潔に。
2. ロータリアンはもっとロータリーを。
3. お互いにもっと知り合おう。

1957～58年度 チャールスG. テンネント (米国)

1. 動員
2. 拡張
3. 探究
4. 奉仕

修練委員会

